

検診を受けて下さい



この10月、11月、12月には、市の検診、事業所の検診を受診する人が多くなっています。

これらの検診で分かるものは、肥満、高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病と飲酒による肝障害などが主です。一般に軽度のものが多いのですが、簡単な生活の改善などで軽快することが多いです。又がん検診も要精密検査になる人も多いのですがほとんどの方が精検の結果は「異常なし」となります。この検診で命拾いする人もありますので、検診を受診されることをお願いします。

南足柄市の検診

①特定検診・はつらつ検診  
計測、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査



②がん検診

肺がん：胸部レントゲン

胃がん：胃レントゲン

大腸がん：便検査

前立腺がん：血液検査

便秘



高齢になると腸の動きが悪くなり、体の運動も少なくなると便秘が起こりやすくなります。その上空気が乾燥し、水分摂取が少なくなると便が硬くなり、出にくくなります。高齢者には、ほとんどの方が下剤を必要とするようになります。

便秘治療薬

①便をやわらかくする薬

・塩類下剤  
酸化マグネシウム剤：腸内に浸透性の高い物質を入れる

・膨張性下剤  
カルボキシメチルセルロース(バルコーゼなど)・薬剤が多量の水分を含んで膨張する。

②大腸を刺激して運動を強める

センノシド、センナ、ピコスルファートナトリウム

③坐薬

炭酸水素ナトリウム、無水リン酸水素ナトリウム(新レシカルボン)

直腸内で炭酸ガスを発生させて腸の運動を促進

ピリコジル(テレミンソフト)

直腸粘膜を刺激して腸の運動を促進

④漢方薬

大建中湯、大黃甘草湯、麻子仁丸  
高齢者や虚弱体質の人の消化管機能の改善

⑤新しい下剤

ルビプロストン(アミティーザ)  
小腸の水分分泌に関与して便の水分量を増加させる。

これ等の便をやわらかくする薬剤と腸の動きを刺激する薬を組み合わせ、毎日1回か2日に1回排便を保つよう調節します。

新しい下剤は作用が強いものが多く、使い方がむずかしくなります。

高齢の患者さんで、便をやわらかくする薬剤や腸の動きを刺激する薬剤をいろいろ組合せ飲んでいただいてもなかなか良い便通が得られず困っていた方がありました。しかたなく下剤を全部やめて、1〜2日便がない時に坐薬を使うようにしたらうまくコントロールできた方がおられます。

この様に下剤の調節は難しいです。



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

☆受付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。  
診察券は毎回お持ち下さい。

☆編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

11月・12月の休診日

休診 日曜・祭日  
午後休診 水曜・土曜



Eメールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp

年末年始休診のお知らせ

	日曜・祝祭日	休診	水曜日・土曜日	午後休診			
12/28 (金)	12/29 (土)	12/30 (日)	12/31 (月)	1/1 (火)	1/2 (水)	1/3 (木)	1/4 (金)
午前	○	休診	×	休診	休診	休診	休診
午後	休診	×	×	休診	休診	休診	休診

1月5日(土)より平常通り診療します。奥津医院